

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	上位目標「首都キガリの人々の雇用および収入創出の機会が増大する」の実現に対し、3年計画の2年目である今期も各事業内容を着実に実施し、基盤を強化した。 フェーズ2訓練生全体で2,272,000RWF(約375,928円の収入があり、これまで収入がほぼ皆無であった訓練生が一人あたり平均約39,446RWF(約7,518円)を得ることができた。 フェーズ1同様、フェーズ2修了生もルワンダ教育省、職業開発庁、ガチュリロ職業訓練センターの協力で、ルワンダの有名大手縫製工場やアパレル会社などで1ヶ月間の企業内実習(Industrial Attachment)の機会が与えられ、参加中である。 フェーズ2期間内に実施したヒアリングによるフェーズ1修了生の就職状況は以下の通り。 ■フェーズ1訓練修了生：48名 (その後2か月間の産業研修修了者：34名) ○フェーズ1訓練および産業研修修了生34名の進路状況 リボン・京都洋裁アシスタントとしてフェーズ2で雇用：8名 インド系大手縫製工場就職：6名 ルワンダ系大手縫製工場就職：2名 中国系大手縫製工場就職：1名 自宅で縫製およびその他仕事：4名 その他の仕事およびリボン・京都からの臨時洋裁仕事：5名 妊娠、子育て、その他仕事：8名 ○フェーズ1訓練修了、産業研修未修了14名の状況 中国系大手縫製工場就職：3名 家族が病気のため看病中：2名 病気療養中：1名 大学進学：2名 妊娠、子育て中：5名 スーダンで洋裁教員：1名
(2) 事業内容	(ア) 高度な日本の洋裁技術習得訓練 (イ) 現地洋裁専門家へのTOT: Training of Trainer (ウ) ビジネス強化ワークショップ (エ) made in Rwanda 製品開発実習 (オ) 三カ国語併記洋裁テキストブックの製作 (カ) 適切なモニタリング・評価の実施 (キ) 1年目修了生のフォローアップ (ク) 修了式および製作披露発表会 (ケ) ミシンメンテナンス講習 (コ) ICT・マーケティング講習

(3) 達成された成果	成果 1 高度な洋裁技術を習得した人材が育成された。 指標 1-1 開始時訓練生数 60 名中、83%にあたる 50 名が訓練を修了した。(※10 名は大学進学や病気、家庭の事情により自発的に途中で訓練を辞退。) 指標 1-2 洋裁技能レベルが、5 段階レベル評価の 3 以上を修了生の 80%以上が達成した。 (洋裁技能レベル基準) レベル 5 : 製図に寸分たがわず縫い上げることができる。柄合わせがきちんと出来ており、仕上がりがほぼ完璧である。 レベル 4 : 指示通りには縫製ができるが、細部に渡る配慮が足りないために仕上がり完璧ではない。 レベル 3 : ある程度指示通りに縫い上げることができる。 レベル 2 : 指示通りに縫製ができず、ミスの多い状態で仕上がってくる。 レベル 1 : 縫い上げるまでに生地を傷付けてしまう等、ほぼ修復不可能な状態で縫い上がってくる。 成果 2 made in Rwanda 製品が開発された。 指標 2-1 ルワンダの伝統生地「ギテンゲ」より、以下 6 点のオリジナルアイテムが開発された 1. ギテンゲイージーパンツ 2. ギテンゲ半袖ワンピース 3. ギテンゲメンズ長袖シャツ 4. ギテンゲタイトスカート 5. ギテンゲメンズアロハシャツ 6. ギテンゲロングドレス 指標 2-2 開発製品の評価が 5 段階評価レベルの最高評価 5 を得た。 (評価レベル基準) レベル 5 : 品質、デザイン上、海外(先進国)市場で流通できる。 レベル 4 : 品質、デザイン上、ルワンダ中流階級以上をターゲットに、ルワンダ市場で流通できる。 レベル 3 : デザイン面あるいは品質両面で再考慮の必要があるもの。 レベル 2 : デザイン面および品質両面で、再考慮の必要があるもの。 レベル 1 : ルワンダローカルマーケットで現在流通している商品 その他派生効果として、訓練生の約 7 割が 1994 年のジェノサイドで家族や親戚を殺されたなどの犠牲者であることが分かったが、本訓練を通じて仲間を作り、訓練内のみならず訓練以外の時間でもお互い協力し助け合うなどの良い雰囲気醸成されている。
--------------------	---

(4) 持続発展性	3 年の本事業終了後は、現在事業を実施しているガチュリロ職業センターが中心となり、有料授業として生徒を集め洋裁訓練を実施する方向である。 またガチュリロ職業センターとキガリ市が協力し、修了生らは組合を結成し、キガリ市が必要資金の貸付を組合に行うことで、活動場所兼販売場所をオープンし、ミシンや生地などの必要洋裁資機材も投入する見通しである。
-----------	--

3. 事業管理体制、その他	
(1) 特記事項	特になし

完了報告書記載日：2015年9月16日

団体代表者名： 理事長 小玉 昌代



【添付書類】

- ① 事業内容、事業の成果に関する写真
- ② 日本NGO連携無償資金収支表（様式4-a）
- ③ 日本NGO連携無償資金使用明細書（様式4-b）
- ④ 外部監査報告書